

60071

教科書文庫

6
760
34-1949
01304 49940



教科書文庫  
6  
760  
34-1949  
0130449940

広島大学図書  
0130449940



12  
204

# おんがくの本

## 2



教育実践  
資料室

新教育実践研究所編  
文部省検定済教科書

中央図書館

広島大学図書

0130449940



寄

教科書文庫

6

760

34-1949

0130449940

昭和二十四年十月十日  
文部省検定済  
小学校音楽科用

寄 贈

教科書文庫  
6  
760  
34-1949  
0130449940

やくそく

みんなできめた

やくそくは、

みんなできっと

まもりましょう。

昭和二十四年十月十日  
文部省検定済 小学校音楽科用

広島大学  
教育学部図書

広島大学図書  
0130449940



や く そ く

詞 村山 壽子  
曲 ハイドン

♩ = 100

み ん な で き め た や く そ く は

The first system of music is written in 4/4 time with a tempo marking of ♩ = 100. It consists of a treble clef staff and a bass clef staff. The treble staff contains the melody, starting with a quarter note G4, followed by quarter notes A4, B4, C5, and a half note D5. The bass staff provides accompaniment with chords. A fermata is placed over the final note of the melody.

み ん な で き つ と ま も り ま し ょ う

The second system of music continues the melody and accompaniment. The treble staff melody starts with a quarter note G4, followed by quarter notes A4, B4, C5, and a half note D5. The bass staff accompaniment continues with chords. A fermata is placed over the final note of the melody.

この きょくを つくった 人は、どんな 人でしょう。

61ページで しらべましょう。

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三



村山 壽子  
ハイドン



も く じ

一	や く そ く.....1	十四	くまの 子.....37
二	二 年 生.....4	十五	どんぐり コロコロ.....40
三	チュ ー リ ッ プ.....7	十六	おちばの おにごっこ...42
四	うさぎの でんわ.....9	十七	すずめの ゆめ.....44
五	空 の こ い.....12	十八	おしよ う が つ.....46
六	みん な みん な かえろ...14	十九	ひだり みぎ.....49
七	雨 ふ り.....17	二十	雪の 小ぼうず.....52
八	高 い 山 ひく い 山.....20	二十一	エ ス キ モ.....54
九	た な ば た さ ま.....22	二十二	おる す ば ん.....56
十	水 で っ ぽ う.....24	二十三	きゅうこうれっしゃ.....58
十一	十 人 の 子 ど も.....26		ハイドンの はなし.....61
十二	お つ か い.....28		おどの おけいこ.....63
十三	秋.....30		ピ ア ノ } の おけいこ.....64
	たぬきの はらづつみ...32		オルガン }



二 年 生

詞 金澤治榮  
曲 松島 舜

$\text{♩} = 88$

1. う れ しい う れ しい に ね ん せ い  
2. う れ しい う れ しい に ね ん せ い

お へ や も か わ っ た つ く え も か わ っ た  
な か よ く あ そ ぼ う い ち ね ん せ い と あ そ ぼ う

お

おさらい  
この きよ  
おとで て  
よんで み

榮 治 澤 金  
琴 島 松



た  
ぼう



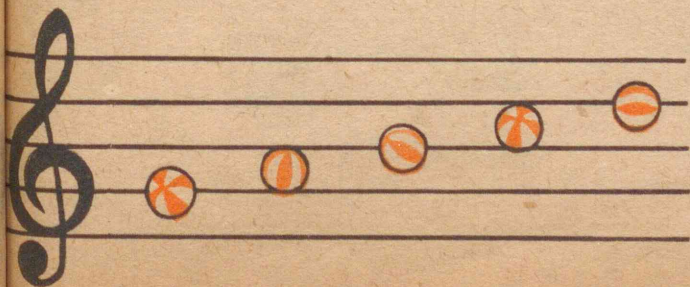
さくらはも ぼつと さいてい いる  
ぶらんこも ボールも おどつて いる

おさらい

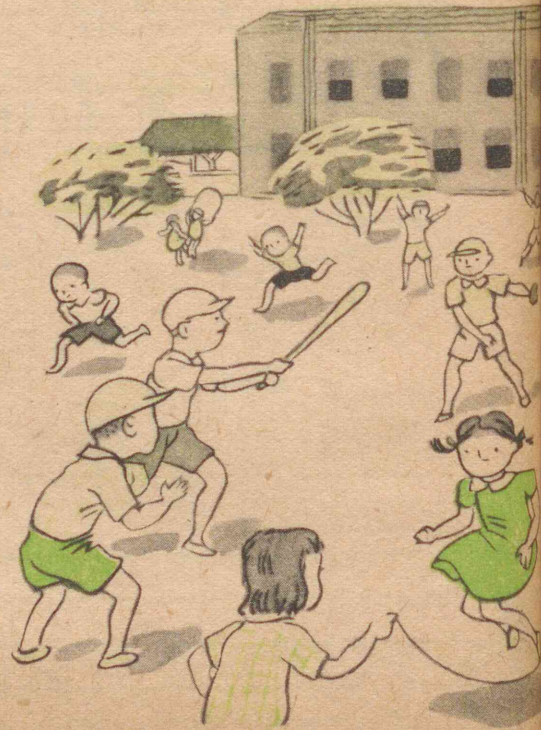
この きょくは、下の 五つの

おとで できて います。

よんで みましょう。



一 二年生



一  
 うれしい うれしい 二年生、  
 おへやも かわった、  
 つくえも かわった、  
 さくらも ぱつと さいている。

二  
 うれしい うれしい 二年生、  
 なかよく あそぼう、  
 一年生と あそぼう、  
 ぶんこも ボールも おどってる。



ミハルス

トライアングル



# チューリップ

詞 波田登喜子  
曲 外国民謡

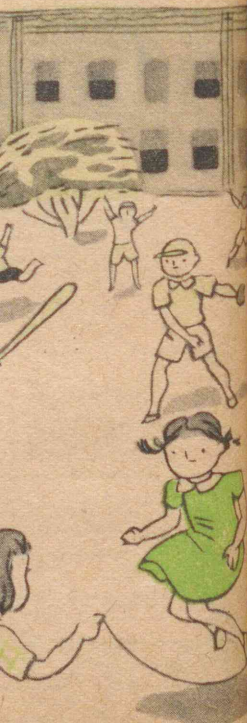
♩ = 100

1. チューリップがさいたならんでさいた  
2. チューリップがさいたならんでさいた

ゆれゆれさいたきれいにさいた  
あかしろきいろあかるくさいた

ミハルス  
トライアングル

チューリップがさいたならんでさいた ゆれゆれさいたきれいにさいた

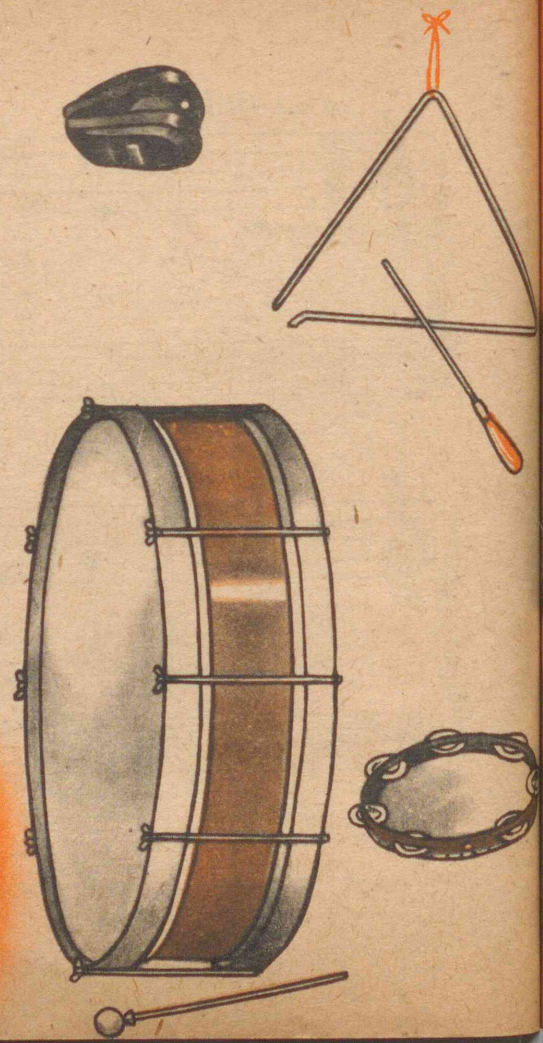


一  
 チューリップが さいた、  
 ならんで さいた。  
 ゆれ ゆれ さいた。  
 きれいに さいた。

二  
 チューリップが さいた、  
 ならんで さいた。  
 あか、しろ、きいろ、  
 あかるく さいた。



二 チューリップ



三 うさぎの でんわ



一 チリリリリン、チリリリリン、

「もし もし、あなたは たぬきさん、  
こちらは うさぎで ございます。  
むかしの けんかは わすれましょう。  
いっしょに さんぽは いかがです。」

二 「まあ、しばらくです、うさぎさん、

かちかちお山は 花ざかり、  
おべんとう もって まいりましょう。  
それでは ふもとで まっています。」





# うさぎの でんわ

詞曲 松島 舜

♩ = 112

Chiririririn chiririririn 1. もしもしあなたは たぬきさん  
2. まあしばらくです うさぎさん

こちらはうさぎで ございます む かし の けん か は  
かちかちおやまは はなざかり お べん とう も っ て ー

松島 舜

わすれま—しょう      いっしょにさんぽは いかがです  
 まいりま—しょう      それではふもとで まっています

さん  
さん

ん か は  
っ て —

ド シ ラ ソ

ド レ



四 空のこい

一 およげよ およげ、

空のうみ、

からりと はれた

ごがつぞら。

二 およげよ およげ、

空のこい、

かぜに ちってる

さつきこい。

三 およげよ およげ、

空のうみ、

ふねは ういてる

ひるの月。

空のこい

詞 百田宗治  
曲 草川信



四空のこい

1. およげよ およげ そらのうみ  
 2. およげよ およげ そらのこい  
 3. およげよ およげ そらのうみ

か—りと は—れた がつぞら  
 か—ぜに ち—つて りごさ らい  
 ふ—ね は ういて るさ つき ごと い  
 るひ るの つ き

詞 百田宗治  
曲 草川信

みんな みんな かえろ

詞 久保田 宵二  
曲 松島 韻光

$\text{♩} = 120$

1. かくれんぼ よした おにごつこ よした  
2. からすも かえる すずめも かえる

お て て つ ない で みんな みんな か え ろ  
う た を う た っ て みんな みんな か え ろ

か  
か

みんな  
このう

$\frac{3}{4}$





久保田宵二  
松島韻光



したる  
える



ろ  
ろ



か える が な く か ら か え ろ  
か える が な く か ら か え ろ

♪ ♪ が ♪ ♪ に ならないように きを つけましょう。  
みんな みんな

この うたに あわせて 下の えのように 三びょうしの たいそうを しましょう。

$\frac{3}{4}$

かさの上。

五 みんな みんな かえろ

一 かくれんぼ よした、

おにごっこ よした、

おてで つないで

みんな みんな かえろ、

かえるが なくから かえろ。

二

からすも かえろ、

すずめも かえろ、

うたを うたって

みんな みんな かえろ、

かえるが なくから かえろ。



六 雨ふり。

一 雨、雨、ふる、ふる、  
田に、はたに、  
子どもは、せつせと  
なえはこび、  
こいぬも、かけます、  
たんぼみち。

二 雨、雨、ふる、ふる、  
のに、山に、  
おとなは、そろって  
田うえ、する。  
つばめは、とびます、  
かさの上。

五 みんな、みんな、かえろ

一 かくれんぼ、よした、  
おにごっこ、よした、





雨 ふ り

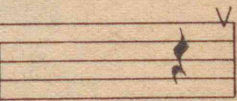
♩ = 116

文部省うたのほん

1. あ め あ め ふ る ふ る た に は た に  
 2. あ め あ め ふ る ふ る の に や ま に

こ い

り  
部省うたのほん



こどもはせつせとなえはこび  
おとなはそろってたうえする

こいぬもかけますたんぼみち  
つばめはとびますかさのうえ

こいぬもかけますのうたにかたにきをつけましょう。

# 高い山 ひくい山

詞 野口雨情  
曲 松島 彝

♩ = 126

1. た かい た かい や ま は な ぜ な ぜ た かい  
2. ひ くい ひ くい や ま は な ぜ な ぜ ひ くい

ミ ハ ル ス  
タ ン プ リ ン  
ト ラ イ ア ン グ ル



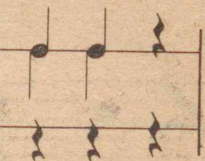
ミ ハ ル ス  
タ ン プ リ ン  
ト ラ イ ア ン グ ル

そ  
れ  
で  
せ  
い  
が  
ひ  
く  
い  
。

詞 野口雨情  
曲 松島 舜



か い  
く い



ひ な た で あ そ ん だ そ れ で せ い が た か い  
ひ か げ で あ そ ん だ そ れ で せ い が ひ く い

ミ ハ ル ス  
タ ン プ リ ン  
ト ラ イ ア ン グ ル

カ  
タン布林をふる

七 高い山 ひくい山  
一 高い 高い 山は、  
なぜ なぜ  
ひなたで 高い、  
あそんだ、  
それで せいが 高い。  
二 ひくい ひくい  
なぜ なぜ 山は、  
ひかげで ひくい、  
あそんだ、  
それで せいが ひくい。

たなばたさま

詞 林 柳 波  
曲 不 明

♩ = 126

1. ささのは サラサラ のきばに ゆれる  
2. ごしきの たんざーく わたしがかいた

うたにあわせて、すすとたいこでがっそうしてみましょ。

すす

たいこ

ささのはサラサラ のきばにゆれる おほしさまキラキラ きんぎんすなご

おお

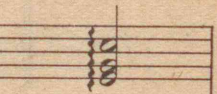
わたしが かった、  
おほしさま キラキラ、  
空から みる。



柳波明  
林不  
詞曲



れる  
いた



んすなご

おほしさま キラキラ きんぎん すなご  
おほしさま キラキラ そらから みてる

ハ たなばたさま

一 ささの は、サラサラ、  
のきばに ゆれる、  
おほしさま キラキラ、  
きんぎん すなご。

二 ごしきの たんぎく、  
わたしが かいだ、  
おほしさま キラキラ、  
空から みてる。



# 水でっぼう

詞 小林純一  
曲 宮原禎次

♩ = 112

1. シュ ウ シュウ シュウ み ず で っ ぼう  
2. シュ ウ シュウ シュウ み ず で っ ぼう

ひ か れ ひ か れ は っ ぽ よ ひ か れ  
か か れ か か れ に じ に じ か か れ

♪ ♪ と ♪ ♪ と どうちがいますか。  
ひか れ ひか れ

うたいかたを おぼえましょう。

に  
ふ



詞 小林純一  
曲 宮原禎次



ぼう  
ぼう



か  
れ



に げ ろ に げ ろ ア リ に げ ろ  
ふ け よ ふ け よ か ぜ も ふ け



風もふけ。

ふけよ、  
ふけよ、  
かかれ、

にじにじ  
かかれ  
かかれ、  
水でっぽう、

ニ シュウ シュウ シュウ シュウ

アリにげる。  
にげる  
にげる、  
はっばよ ひかれ、  
ひかれ ひかれ、  
水でっぽう、

一 シュウ シュウ シュウ

九 水でっぽう

# 十人のこども

詞 波田登喜子  
曲 外国民謡

♩ = 80

1. ひ ひとり ふ たり 三 にん き た 四 にん 五 にん 六 にん き た  
2. 十 にん 九 にん 八 にん になつた 七 にん 六 にん 五 にん になつた

七 にん 八 にん 九 にん き た 十 にん そ ろつ た  
四 にん 三 にん ふ たり になつた ひ とりの こつ た

♭ は、なんの しるしでしよう。



# 十 十人の 子どもの ゆうぎ

ようい

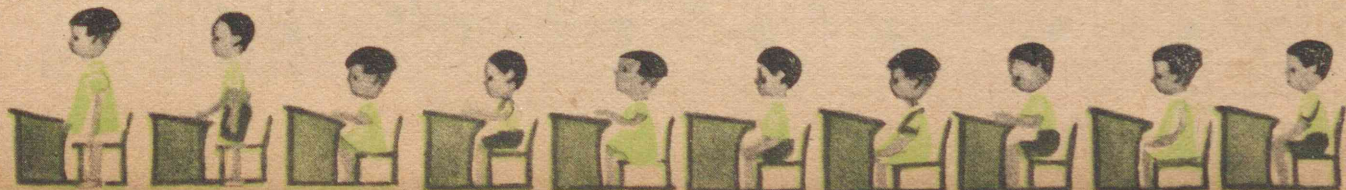
「1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10」と めいめい じぶんの ばんごうを きめて  
おいて うたに あわせて うごきましょう。

う た

- |              |               |               |                             |
|--------------|---------------|---------------|-----------------------------|
| (1) ひとり..... | 一ばん たって       | (2) 十人.....   | 十ばん すわって                    |
| ふたり.....     | 二ばん たって       | 九人.....       | 九ばん すわって                    |
| 三人 きた.....   | 三ばん たって       | 八人に なった.....  | 八ばん すわって                    |
| 四人.....      | 四ばん たって       | 七人.....       | 七ばん すわって                    |
| 五人.....      | 五ばん たって       | 六人.....       | 六ばん すわって                    |
| 六人 きた.....   | 六ばん たって       | 五人に なった.....  | 五ばん すわって                    |
| 七人.....      | 七ばん たって       | 四人.....       | 四ばん すわって                    |
| 八人.....      | 八ばん たって       | 三人.....       | 三ばん すわって                    |
| 九人 きた.....   | 九ばん たって       | ふたりに なった..... | 二ばん すわって                    |
| 十人.....      | 十ばん たって       | ひとりのこった.....  | 一ばんだけ たった                   |
| そろった.....    | みんなで 三ど手を たたく |               | ままで みんな まえの<br>ように 三ど手を たたく |

は  
八 にんになった  
五 にんになった

と うたいます、うたいかたを  
よく おぼえましょう。





子舞 壽島 山松 村  
詞曲



すぐだ  
しじょうび



かっか  
かっか

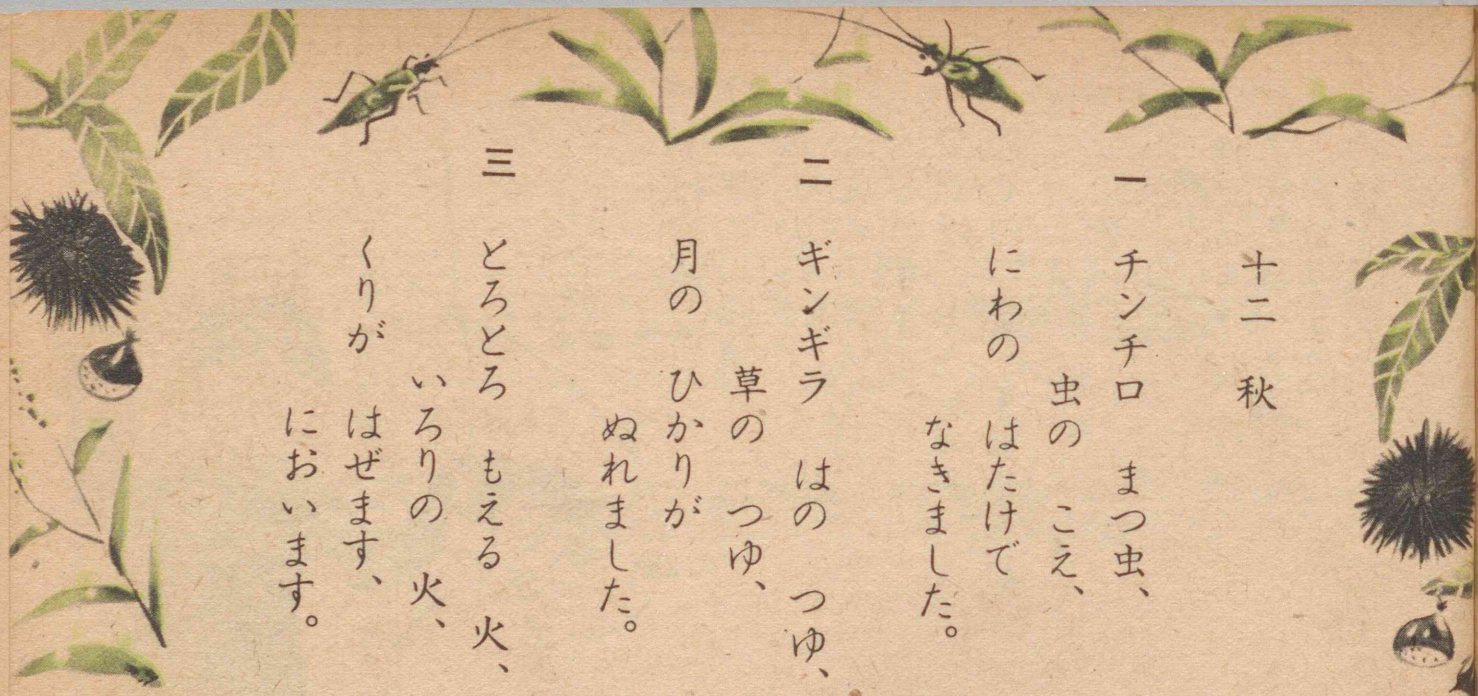


二  
かごを  
ふり ぶり  
おつかいに、  
あしたは たのしい  
たんじょう日、  
タやけ まっかっか、  
にし の 空 まっかっか。

一  
なわとび  
ピョン ピョン  
おつかいに、  
かどの ポストは  
もう すぐだ、  
タやけ まっかっか、  
にし の 空 まっかっか。

十一 おつかい





十二 秋

一 チンチロ まつ虫、

虫の こえ、  
にわの はたけで

なきました。

二 ギンギラ はの つゆ、

草の つゆ、  
月の ひかりが

ぬれました。

三 とろとろ もえる 火、

いろりの 火、  
くりが はせます、

においます。

文部省初等音楽一

♩ = 120

30

1. チ  
2. ギ  
3. と

につく



十二  
秋

省初等音楽一



1. チ    ンチ    ロ    ま    つむ    し    む    しの    こ    え  
2. ギ    ンギ    ラ    は    のつ    ゆ    く    さの    つ    ゆ  
3. と    ろと    ろ    も    える    ひ    い    ろり    の    ひ



に    わ    の    は    た    け    で    な    き    ま    し    た  
つ    き    の    ひ    か    り    が    ぬ    れ    ま    し    た  
く    り    が    は    ぜ    ま    す    に    お    ま    し    た

たぬきの はらつつみ

詞 文部省国語一  
曲 一宮 道子

♩ = 76

8

ミハルス

2/4

タンブリン

2/4

文部省国語一  
一宮道子



1. さ あ さ あ あ つ ま れ つ き が で た  
 2. こ や ぶ の か げ ま ち こ か げ か ら  
 3. そ ら に は ま ー る い お つ き さ ま

ミハルス

タン布林



みんなでつづみのうちくらだ おやまのうえでは  
 ぬっくりぬっくりこだぬきが でてきておやまに  
 ぼっかりうかんだしろいくも つ一きにうかれて

ミハルス  
 タンブリン

tr ふりながら上にあげる



おあは  
 ミハルス  
 tr  
 タンブリン

おさらい  
 (1) (2) (3)

どの おんぷ  
 ろうそくの中



えで は  
やまに  
かれ て

しながら上にあげる



お やだ ぬ き      ポン ポコ あい ずの はら づ つ み  
あ つま っ て      ず ら り と な ら ん で わ に な っ た  
は ら づ つ み      ポン ポコ ポン ポコ う ち だ し た

ミハルス

タン布林      ふりながらおろす

おさらい

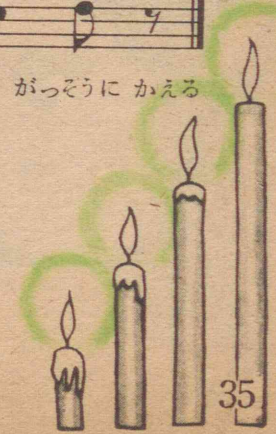
(1) (2) (3) (4)

この なか で う た う と き に 一 ぱ ん な が く の ば す の は

ど の お ん ぶ で し ょ う 。 の よ う に な が さ の じ ゅ ん に

ろ う そ く の 中 に か き い れ て み ま し ょ う 。

はじめての がっそうにかえる



かえつて くるのを  
ゆめに みた。



十三 たぬきの はらぶつみ

一 さあ さあ あつまれ、月が 出た、  
みんなで つづみの うちくらだ、  
お山の 上では おやだぬき、  
ポンポコ あいずの はらぶつみ。

二 こやぶの かげから、こかげから、  
ぬっくり ぬっくり、こだぬきが、  
出て きて お山に あつまって、  
ずらりと ならんで わに なった。

三 空には まるい お月さま、  
ぽっかり うかんだ 白い 雲、  
月に うかれて はらぶつみ、  
ポンポコ ポンポコ うちだした。



十四 くまの子

一 木のぼり くまの子、  
のこのこ 木のぼり、  
なにをみた。

お山の ほそ道

かあさんが、

かえって くるのを

さがしてた。

二 おすもう くまの子、

どっこ どっこ おすもう、  
くたびれた。

おひるね して いて

かあさんが、

かえって くるのを

ゆめに みた。

十三 たぬきの ばらづつみ

一 さあ さあ あつまれ、月が 出た、



詞 佐藤 義美  
曲 佐々木 すぐる



1. き の ぼ り く ま の こ  
 2. お す も う く ま の こ

の こ の こ き の ぼ り な に を み た  
 ど つ こ ど つ こ お す も う く た び れ た



おやまのほそみちかあさんが  
おひるねしそいてかあさんが

かえってくるのをさがしてた  
かえってくるのをゆめにみた

どんぐり コロコロ

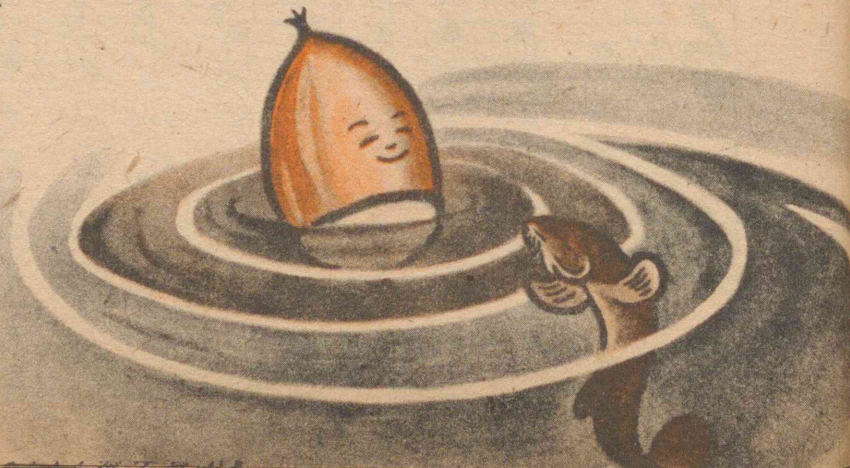
詞 青木存義  
曲 梁田貞



十五 どんぐり コロコロ

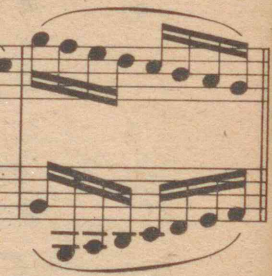
一  
どんぐり コロコロ どんぶりこ、  
おいけに はまって さあ たいへん、  
どじょうが 出て きて こんにちは、  
ぼっちゃん いっしょに あそびましょう。

二  
どんぐり コロコロ よろこんで、  
しばらく いっしょに あそんだが、  
やっぱり お山が こいしいと、  
ないては どじょうを こまらせた。



コロコロ

詞 青木存義  
曲 梁田 貞



1. どんぐりコロコロ どんぶりこ      おいけにはまってさあたいへん  
 2. どんぐりコロコロ よろこんで      しばらくいっしょにあそんだが

どじょうがでてきて こんにちは      ぼっちゃん いっしょにあそびましょう  
 やっぱりおやまが こいしいと      ないてはどじょうを こまらせた



# おちばの おにごっこ

詞 上松登喜子  
曲 外国民謡

♩ = 120

1. ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ  
2. チ ラ チ ラ チ ラ チ ラ チ ラ チ ラ



ニ  
 チラチラ チラ、  
 チラチラ チラ、  
 おちばと 風の  
 おにごっこ。

一  
 ヒラヒラ ヒラ、  
 ヒラヒラ ヒラ、  
 おちばが おどる、  
 風に。

十六 おちばの

おにごっこ



おお

2/4 ヒラ ヒラ  
トライフ

詞 上松登喜子  
 曲 外国民謡



お ち ば が お ど る か ぜ に  
 お ち ば と か ぜ の お に ご っ こ

タンブリンと トライアングルを、下の ように あわせて みましょう。

ヒラ ヒラ ヒラ ヒラ ヒラ ヒラ ヒラ おちばと かぜの おにごっこ

トライアングル      タンブリン      トライアングル      タンブリン

タンブリン

# すずめの ゆめ

詞曲 川崎有弘

♩ = 108

1. お せ だ の お せ だ の た け や ぶ は  
2. ね せん だ の お せ だ の た け や ぶ は  
3. た け や ぶ こ や ぶ に か ぜ ぶ い て

す ず め の ね ん ね の お や ど で す  
ゆ り か ご の ゆ れ て る お や み で た  
ね ん か の こ す ず め め が さ て た



十七 すずめの ゆめ

一 おせどの おせどの 竹やぶは、  
すずめの ねんねの おやどです。

二 ねんねの子すずめ ゆめ みてた、  
ゆりかご ゆれてる ゆめ みてた。

三 竹やぶ こやぶに 風 ふいて、  
ねんねの子すずめ 目が さめた。



おしょうがつ

詞 村山 壽子  
曲 松島 韻光

♩ = 84

1. ペッ タン コ    ペッ タン コ    も    ち    つ    き    ペッ タン コ  
2. カッ チン コ    カッ チン コ    は    ね    つ    き    カッ チン コ  
3. ガッ クリ コ    ガッ クリ コ    し    し    ま    い    ガッ クリ コ

うた

まり





詞 村山壽子  
曲 松島韻光

おしょうがつ こいこい はやくこい はやくこい  
おしょうがつ ききた おめでとう おめでとう  
おしょうがつ ききた うれしいな うれしいな

は とうたいます。  
おめでとう おめでとう

うたにあわせて、つぎのリズムでまりつきをしましょう。

まり  $\frac{2}{4}$

ピッタンコ  
クッチンコ  
バククリコ



ひだり みぎ、  
きを つけて、  
さっさと わたろう、  
むこうがわ。

十八 おしよがつ

一 ペツタンコ ペツタンコ、

もちつき ペツタンコ、

おしよがつ こい、こい、

早く、こい、早く、こい。

二 カッチンコ カッチンコ、

はねつき カッチンコ、

おしよがつ、きた、きた、

おめでどう、おめでどう。

三 ガックリコ ガックリコ、

ししまい ガックリコ、

おしよがつ、きた、きた、

うれしいな、うれしいな。



十九 ひだり みぎ

一 ひだり みぎ、  
ひだり みぎ、

くつが なる。

ひだり みぎ、  
ひだり みぎ、

むね はって、

ひだり みぎ、  
ひだり みぎ、

げんきよく、  
さっさと あるこう、

みぎがわを。

二 ひだり みぎ、  
ひだり みぎ、

でんしゃみち、  
みぎみて、

ひだりみて、

それ すすめ。  
ひだり みぎ、

きを つけて、  
ひだり みぎ、

さっさと わたろう、  
むこうがわ。



十八 おしよがつ



# ひだり みぎ

詞 村山壽子  
曲 外国民謡

$\text{♩} = 108$

1. ひだり みぎ ひだり みぎ く つ が な る  
2. ひだり みぎ ひだり みぎ で ん し ゃ み ち

ひだり みぎ ひだり みぎ む ね は っ て  
ひだり みぎ ひだり みぎ そ れ す す め

詞曲 村山壽子  
外国民謡

V

る  
ち

V

て  
め

V

ひだり みぎ ひだり みぎ げん き よ く  
ひだり みぎ ひだり みぎ き を つ け て

さ っ さ と あ る こ う み ぎ が わ を  
さ っ さ と わ た ろ う む こ う が わ

# 雪の小ぼうず

詞 村山 壽子  
曲 外国 曲

♩ = 63

1. ゆきのこぼうず ゆきのこぼうず や ね に おりた  
2. ゆきのこぼうず ゆきのこぼうず く さ に おりた  
3. ゆきのこぼうず ゆきのこぼうず い け に おりた

つ り と す べって か ぜに のって き え た  
じ ー っ と す わって み ずに なって き え た  
す る り と も ぐって みん な みん な き え た



みんな  
みんな  
きえた。

詞 村山壽子  
曲 外国曲



た た た  
り り り  
お お お



た た た  
え え え  
き き き



二十 雪の 小ぼうず

一 雪の 小ぼうず、雪の 小ぼうず、  
やねに おりた。

つるりと すべって、  
風に のって きえた。

二 雪の 小ぼうず、雪の 小ぼうず、

草に おりた。

じっと すわって、

水に なって きえた。

三 雪の 小ぼうず、雪の 小ぼうず、

いけに おりた。

するりと もぐって、

みんな みんな きえた。

# エ ス キ モ

詞 金 澤 治 榮  
曲 エ ス キ モ 民 謡

$\text{♩} = 88$

1. リン リン リン リン リン リン ト ナ カ イ は し る  
2. け が わ を き て ト ナ カ イ は し る  
3. き い ろ い か お ち お い さ い か ら だ

おんぶで さんすうの  
おけいこを しましょう。

$\text{♪} + \text{♪} = \text{♪} + \text{♪} =$   
 $\text{♪} - \text{♪} = \text{♪} - \text{♪} =$   
 $\text{♪} + \text{♪} + \text{♪} =$







二十一 エスキモ

一 リンリンリンリン

リンリン、

トナカイ 走る、

雪の くには

どこでしよう。

二 けがわを きて、

こおりの はらを、

あるいて いるのは

だれでしよう。

三

きいろい かお、

ちいさい からだ、

きたの くのにの

エスキモ。

# おるすばん

詞 村山 壽子  
曲 松島 舜

$\text{♩} = 100$

1. ひ な た で ほ か ほ か お る す ば ん  
2. と け い が ボ ン ボ ン お な り ま し た  
3. ま ま ご と あ そ び の に ん ぎ ょ う と

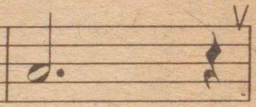
The first system of music is written in 4/4 time with a key signature of one flat (B-flat). It features a treble and bass clef. The melody is simple and repetitive, with lyrics written below the notes. There are two fermatas (V) above the notes for 'おるすばん' and 'と'.

ね む く り な り そ う な お る す ば ん  
びっ く り な す る よ う な お と す ば ん  
かあ さ ま ま っ て る お と す ば ん

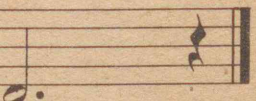
The second system of music continues the melody in the same 4/4 time and key signature. It also features a treble and bass clef. The lyrics are written below the notes, and there is a fermata (V) above the notes for 'おるすばん'.



詞 子 壽 山 村  
曲 松 島 霽



ん  
た  
と



ん  
た  
ん



二十二 おるすばん

一 ひなたで ぽかぽか おるすばん、  
ねむく なりそうな おるすばん。

二 とけいが ボンボン なりました、  
びっくり するような おどでした。

三 ままごと あそびの にんぎょうと、  
かあさま まってる おるすばん。

ふ え  
 そろばん  
 をこする

せんそう

きゅうこうれっしゃ

詞 金澤榮治  
 曲 外国民謡

♩ = 120

1. ガッタンゴットン ガッタンゴットン きゅうこうれっしゃ  
 2. ガッタンゴットン ガッタンゴットン きゅうこうれっしゃ

そろばん

ガッタンゴットン ガッタンゴットン はしるよはしる  
 ガッタンゴットン ガッタンゴットン はしるよはしる

そろばん

ふ え  
 そろばん  
 をこする

ふ え  
 そろばん  
 をこする

詞 金澤榮治  
曲 外國民謡



れっ しゃ  
れっ しゃ



は し る  
は し る



た ん ぼ だ は や し だ そ ら ト シ ネ ル だ  
し ら ぼ だ か も め だ あ ー お い そ ら だ

ふ え  
そろばん  
をこする

ガ ッ タ ン ゴ ッ ト ン ガ ッ タ ン ゴ ッ ト シ は し る よ は し る  
ガ ッ タ ン ゴ ッ ト ン ガ ッ タ ン ゴ ッ ト ン は し る よ は し る

ふ え  
そろばん  
をこする



六  
うを  
あ

二十三 きゆうこうれっしや

一 ガツタン ゴットン、  
ガツタン ゴットン、

きゆうこうれっしや、

ガツタン ゴットン、

ガツタン ゴットン、

走るよ、走る、

たんぼだ、はやしだ、

そら、トンネルだ、

ガツタン ゴットン、

ガツタン ゴットン、

走るよ、走る。

二 ガツタン ゴットン、  
ガツタン ゴットン、

きゆうこうれっしや、

ガツタン ゴットン、

ガツタン ゴットン、

走るよ、走る、

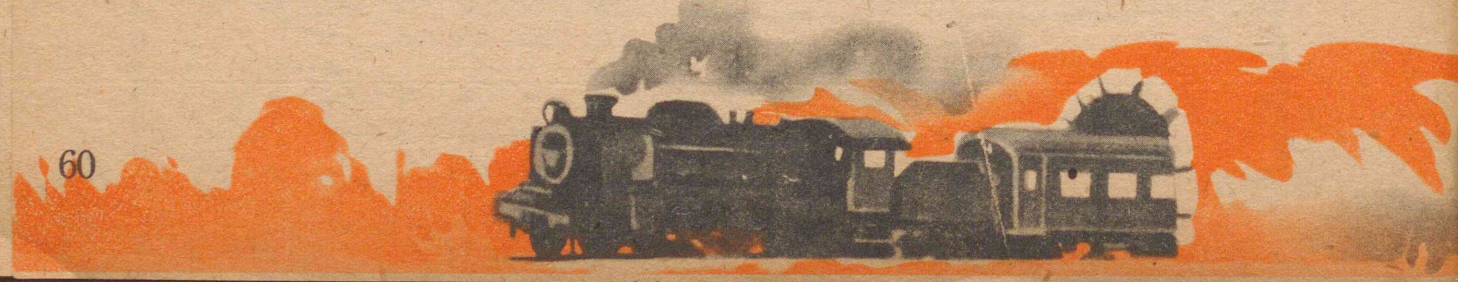
しらほだ、かもめだ、

青い 空だ、

ガツタン ゴットン、

ガツタン ゴットン、

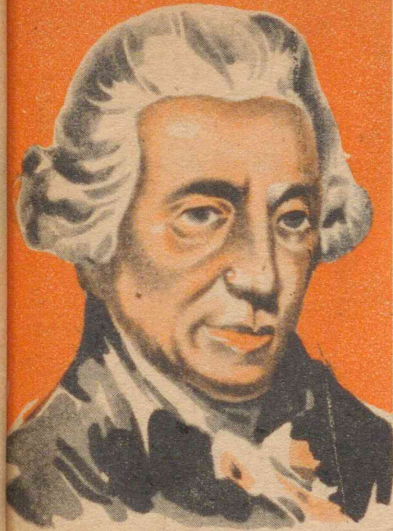
走るよ、走る。



## ハイドンの はなし

ハイドンは、まずしい くるまだい  
くの 子どもでした。ちいさい とき  
から、おんがくが すきで、おとうさ  
んの ハープに あわせて、バイオリ  
ンを ひいたり、いいこえで うたっ  
たり して たのしみました。

六つの とき、ハインブルグの きょうかいの、がくちよ  
うを して いた いとこに、おんがくを ならいました。  
ある 日、まちの がくたいに たいこうちが なくて



二十三 きゅうこうれっしや

一 ガッタン

ゴットン、

ガッタン、

ゴットン、

こまって いました。ハイドンは ごぜんちゅう あきだる  
を たたいて けいこして、ごごには りっぱに たいこを  
うったので、みんなは びっくりしました。

ハイドンは やさ  
しい ころの 人  
で、「おもちゃシン  
ホニー」や「きよな  
らシンホニー」のよ  
うな きょくを た  
くさん つくって、  
「パパ ハイドン」  
と したわれました。

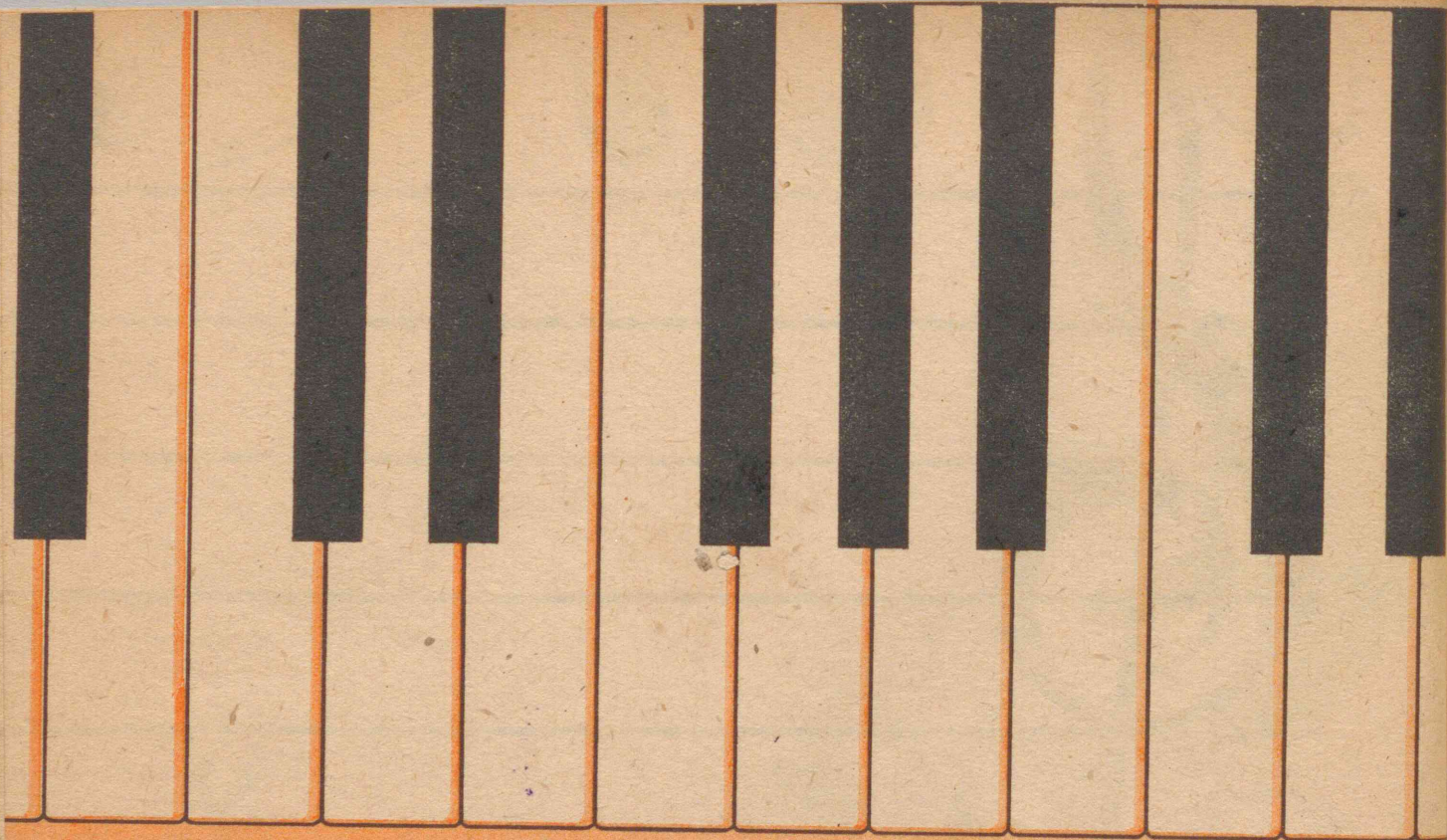




あきだる  
たいこを



おはじきを ならべて、いろいろの  
おとの ばしょを おぼえましょう。



これは なんの えでしょう。

ドは どこでしょう。ファは、どこでしょう。

いろいろの おどを ひいて みましょう。

12  
二葉 小音204

おんがくの本 2 (小学校第二学年用)

Approved by Ministry  
of Education  
(Date Oct.24, 1949)

昭和二十五年三月十日印刷  
昭和二十五年三月十五日発行  
(昭和二十四年十月十日 文部省検定済)

定価 十九円

著作者

松島 舜 一宮道子  
牛山 充

発行者

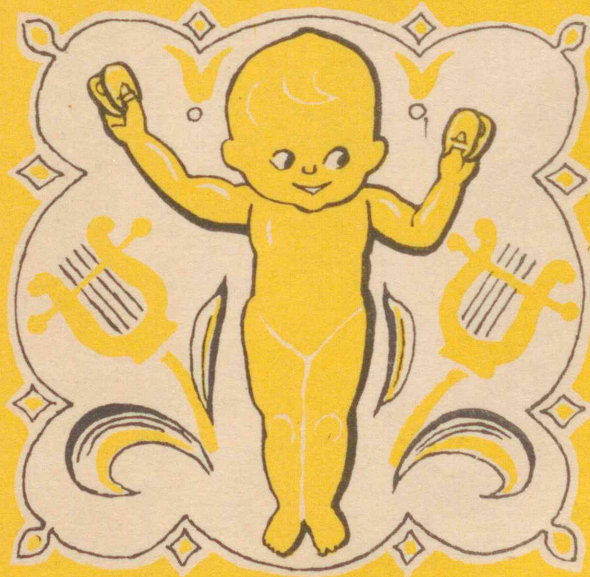
東京都北区稻付町一丁目二三番地  
二葉図書株式会社  
代表者 大野 治 輔

印刷者

東京都北区稻付町一丁目二〇八番地  
二葉印刷株式会社  
代表者 大野 治 輔

発行所

東京都北区稻付町一丁目二三番地  
二葉図書株式会社



二葉図書株式会社

なまえ

広島大学図書

0130449940

